

# ヒヨドリってどんな鳥

スズメ目ヒヨドリ科の鳥は世界に約 120 種、アフリカ、インド、東南アジアなどの熱帯に多く、日本には 2 種 ヒヨドリとシロガシラがいます。

日本のヒヨドリは世界で最も北に分布する種であり、棲息地も日本とその周辺に限られていて、日本固有種とも言える世界的には珍鳥です。北海道で繁殖するのは秋に大群で本州以南に渡ります。本州に棲息するヒヨドリも北地や高地のものは冬に暖地へ渡ります。

小笠原、奄美、石垣、大東、琉球諸島、台湾などの島嶼にはそれぞれ固有の亜種がいますが、渡りをしません。

1970 年代以前は冬に渡来する鳥でしたが、今では年間通して見られるようになり、街路樹、公園の植栽樹、ベランダの植木などにも営巣する都市鳥になりました。

同時期からブロッコリー、カリフラワー、キャベツなどを集団で食害するようになり農家の大敵です。なぜ短期間に習性の変化がおきたのか諸説あります。



## ヒヨドリが森をつくる

ヒヨドリも子育てに蛋白質が必須の為、昆虫の幼虫やヤモリなどの動物質の餌を雛に与えますが、基本的には植物食で、色々な木の実、草の実の他に椿や桜の蜜、椿やコブシの花弁も食べます。実は丸呑みして種を糞と共にまき散らすので、種子散布による森作りに貢献しています。またツバキや桜の蜜を吸うときに花粉の媒介もしています。

ヒヨドリが食べた木の実 草の実 (坂本調べ)

赤い実	アオキ アメリカハナミズキ イイギリ カキ クロガネモチ ピラカンサス ナンテン マンリョウ リンゴ
黒い実	イボタ イヌツゲ ウワミズザクラ キツタ クワ トウネズミモチ ナツツタ ネズミモチ ミズキ ムクノキ ヤマザクラ
黄褐色	エンジュ シュロ センダン バナナ ヘクソカズラ ヌルデ ミカン

野鳥撮影中に見た種類を書き出しました。

実際はこの数倍の種類を利用していても不思議ではありません。

リンゴ、ミカン、バナナは餌台の観察です。穀類では人間の与えるパン屑などを空中でキャッチして食べますが、自然状態の穀類を食べる場面を見た事はありません。